

小説

『ゴールドサンセット』

白尾 悠 著

55歳以上の中高年限定の素人劇団・トラスシアターに所属する劇団員たち。彼らが抱える各々の悩みや生きづらさが、周囲の人々も巻き込んで、「リア王」上演日に向かって集約されていく――。晩年の人生に小さな希望の光をもたらす、胸が熱くなる連作短編集。

小説

『ジュリアン・バトラーの真実の生涯』

川本 直 著

戦後のアメリカ文学史に名を刻みながらも、日本では未だ知られざる小説家ジュリアン・バトラー。同性愛者でありゴシップだらけだった彼の生涯は、長きにわたりベールに包まれていたが、遂にその真実が暴かれることになる。読売文学賞小説賞を受賞した迫真の長編小説。

小説

『不屈の達磨』

安生 正 著

再生可能エネルギー事業を扱う期待の一部上場企業、ジャパンテックパワー。株主総会間近に社長が失踪したことを皮切りに、壮絶な後継者争いが勃発する。その正義感から九州に左遷させられていた弓波は、管理本部に戻され、立て続けに起こるトラブル対応と渦巻く陰謀に翻弄され……。

小説

『布武の果て』

上田 秀人 著

織田信長と足利義昭が上洛戦を奏功させた永禄11年。信長の茶会に同席し、天下取りの動向を探ることを許された堺の商人の今井宗久・千宗易・津田宗及らは、戦には欠かせない鉄砲や硝石の手配を意のままに行えるようになる。商人たちの視点から見る、信長の天下取りの行く末とは。

小説

『ブルックリンの死』

アリッサ・コール 著

離婚後ブルックリンの実家に戻って来たシドニーは、近隣の古参住民が次々と新住民に入れ替わり、消息を絶っていることに気付く。歴史探訪ツアーの企画のため、地元について調べ始めた彼女と新住民のセオは、恐ろしい歴史の一端に気づいてしまう。エドガー賞受賞のスリラー・サスペンス。

趣味 実用

『愛書狂の本棚』

エドワード・ブルック＝ヒッチング 著

世界中の奇書やだます目的で書かれた偽書、市場に出回らない稀本が勢ぞろい。血で書かれた本、ヒトラーの偽日記、古代エジプトの魔術書、チーズを綴じた本、持ち歩ける簡易トイレ本……など、約300点。それぞれの本が持つストーリーや由来を、オールカラーで楽しめる。

趣味 実用

『くそじじいとくそばばあの日本史  
長生きは成功のもと』

大塚 ひかり 著

長命ゆえに江戸幕府を築けたタヌキオヤジ徳川家康、卑弥呼の推定年齢は93歳?!など長生き利得を活用し、したたかに歴史上を生き抜いた爺婆が勢ぞろい。リスパクトの意を込め、敢えて「くそじじい・くそばばあ」と呼ぶ愉快痛快な日本史エッセイ。

趣味 実用

『プリズン・サークル』

坂上 香 著

受刑者が互いの体験について対話を重ね、犯罪の原因を探り更生を促すプログラムを日本で初導入した男子刑務所がある。その刑務所内での日本初の長期撮影と、10年超の取材の後に完成した2020年公開の映画「プリズン・サークル」を制作した著者が綴る渾身のノンフィクション。

趣味 実用

『干し野菜百科』

濱田 美里 著

買うとなるとちょっとお高い「完全天日干し」の干し野菜を、簡単手作りで。長期保存がきくので野菜をムダにせず、味がぐっと濃くなり歯ごたえがアップする、いいことづくしの干し野菜。66種類の野菜それぞれの最適な切り方や干し時間、保存方法や82のお手軽レシピを掲載している。

趣味 実用

『世にも美しい三字熟語』

西角 けい子 著

よく知られている四字熟語と違い、影の薄い三字熟語。日本の情景美を表す「雪月花」、なんだかかっこいい「阿修羅」、クスッと笑える「安本丹」など、実は三字熟語の世界は、美しくかっこよく面白い。真ん中の一文字を考えるクイズ形式で、153もの三字熟語を収録する。